

母の日や初任給もて祝はるる 明美

夏期講習ビルにのまれる白き腕 安津子

賢慮なき憲法論議梅雨近し 千恵

ふたたびの母校華やぐ夏来たる 一馬

小さき手をほつこりあはせ天道虫 眞澄

更衣子のおさがりを父が着る 莫院

道迷ひ迷ひて寒し古戦場 静

いと白き浴衣の裾のくるぶしの 撫子

紫陽花や雫をあつめ艶を増す 童心

二年後へ今を漬け込む梅仕事 青蛙

子規全集ひらく夏柑割くように 紗希

母の杖歩みとどめて曼珠沙華 貪患理

雅子妃の回復祈る漱石忌 隆司

一人来て去年こぞを流せし道後の湯 茂

休館の門扉をこぼれたる椿 抹茶

朗報に腰浮かせ球春を待つ 光